

「ヒューマンライフイノベーション開発研究機構」シンポジウム

健康で心豊かな「人生」を科学する～こころとからだ～

ヒューマンライフイノベーション開発研究機構では、機構が有する「ヒューマンライフサイエンス研究所」と「人間発達教育科学研究所」を通じて、その強みとなっている既存領域の融合や架橋をさらに強め、科学の視点から「こころ」「からだ」の実態をとらえるような新しい研究分野の提唱をめざすことを第4期の目標としています。この新たなビジョンに向けた第4期のキックオフイベントとして、脳神経科学研究分野のトップランナーである大隅典子氏をお招きし、こころとからだの健康に関するシンポジウムを開催します。

【日時】2022年11月2日（水曜日） 13:30～16:30

【場所】お茶の水女子大学（オンライン）

【共催】お茶の水女子大学ヒューマンライフイノベーション開発研究機構

同上 ヒューマンライフサイエンス研究所

同上 人間発達教育科学研究所

【テーマ】健康で心豊かな「人生」を科学する～こころとからだ～

【プログラム】

13:30～13:45 開会挨拶

佐々木 泰子（お茶の水女子大学 学長）

ご来賓挨拶

阿部 啓子先生（東京大学 大学院農学生命科学研究科 特任教授・一般社団法人バイオインダストリー協会 代表理事 会長）

13:45～14:35 基調講演

大隅 典子先生（東北大学副学長・東北大学大学院医学系研究科教授：神経発生学・発生発達神経科学）

「DOHaD：健康や疾病の発生的起源」

14:35～15:25 ヒューマンライフサイエンス研究所

研究所紹介 藤原 葉子（IHLS 所長・教授：栄養科学）

①「低栄養が関連する疾患における脂質栄養の重要性」

市 育代（准教授：脂質栄養学）

②「外傷性脳損傷修復における環状ホスファチジン酸の効果」

宮本 泰則（教授：神経生物学・分子細胞生物学）

15:25～15:35 休憩

15:35～16:25 人間発達教育科学研究所

研究所紹介 大森 美香 (IEHD 所長・教授：健康心理学)

①「私たちは、どう若者でなくなるのか

—現代日本社会における「後期若者」に注目して—

大多和 直樹 (准教授：教育社会学)

②「青少年の自傷行為はどのような意味をもつのか

—自傷と他害、被害と加害の関係から—

高橋 哲 (准教授：犯罪心理学)

16:25～16:30 閉会挨拶

石井 クンツ 昌子 (理事・副学長：ヒューマンライフイノベーション開発研究機構長)

<司会：小暮 光生 (研究・産学連携課長)>

【対象】 本学教職員、学生、一般ほか

【参加費】 無料

【申込方法/連絡先】 事前申込制 締切：10月31日(月)

※申し込み、詳細は以下サイトから

<http://www-w.cf.ocha.ac.jp/ihli/event20221102/>